

上ノ国保育所『みんなの発表会』開催

12月12日、上ノ国保育所『みんなの発表会』がジョイ・じょうらの川ホールで開催されました。毎年会場が満員になる発表会ですが、今年はコロナウイルス感染拡大防止のため、年齢別で開演時間を分ける2部制で行われ、人数制限を設けるなどの感染対策を講じての開催となりました。

1歳児から3歳児までの1部では、遊戯「げんきスイッチオン!」などを披露。4・5歳児の2部では、リズム劇「ピーターパン」などが披露され、会場からは大きな拍手が送られました。



スポーツセンターでフットサル大会開催

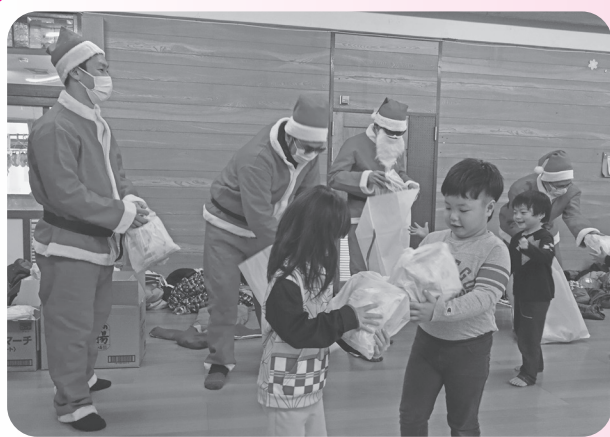
12月20日、町スポーツセンターで渡島檜山管内のフットサル大会「道南日本海カップ」が開催され、本町と江差町の社会人で構成される「蹴り友」が出場しました。

北海道リーグ所属の強豪も出場するレベルの高い大会とあって、初心者も多く所属する「蹴り友」は試合内容で圧倒されるものの、笑顔で試合を楽しんでいました。蹴り友所属の浅沼博人さん(字汐吹)は「結果が出ず残念だが、感染症対策をしながら大会を開催できたことに意義がある。」と話していました。

保育所園児へクリスマスプレゼント

12月23日、サンタクロースの格好をした上ノ国町商工会青年部員から町内保育所の園児へ、クリスマスプレゼントとしてお菓子の詰め合わせが手渡されました。

この取組は今年が初めてで、コロナ禍で同青年部主催イベントが軒並み中止となる中、子ども達に夢を与え笑顔になってもらいたいとの企画が立ち上がりました。商工会青年部久末元部長は「コロナの影響で不安の渦中にあるが園児たちの喜ぶ姿が見られて我々も元気をもらえた。」と話していました。



洋上風力発電に係るセミナー開催

12月18日、北海道主催の「洋上風力発電に係る理解促進セミナー」が開催され、サテライト会場である檜山振興局4階講堂には、本町からの参加者の姿も見られました。

セミナーでは、北海道は洋上風力発電の全国一のポテンシャルがあること、上ノ国沖を含む檜山沖は準備が進んでいる区域として注目されていることなどが説明されました。

今後は、関係機関と連携し、洋上風力発電事業を積極的に推進していきます。